



定例総会にて挨拶をする田湯会長

通
神
青

第39号

北海道
神道青年協議会
平成19年7月31日

去る四月四日、平成十九年度の北海道神道青年協議会定例総会が、道内各地より五十三名の出席のもと、北海道神社庁に於いて開催された。

開会式では、神殿拝礼、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和、田湯直宜会長の挨拶に続いて、御来賓の中村憲由樹北海道神社庁副庁長、北方幸彦道神青協OB会会長より御挨拶を頂戴した。その後の議案審議に先立ち議長選出を行い、札幌支部青年神職文月会の山口貴生会員が選出され、議事が進められた。

議事では、平成十八年度の会務報告・一般会計歳入歳出決算報告、事業会計等の収支決算報告、監査報告と行われ、その後全体に諮られ承認を受けた。そして役員改選では、昨年十月の臨時総会に於いて選任された大野清徳新会長より指名された新役員が承認され、代表して後藤隆弘新副会長へ委嘱状が手渡された。続いて新執行部がバトンタッチされ、平成十九年度

の活動方針・事業計画、これに則した予算案が審議され、異議なく承認された。又、併せて道神青協六十周年に関する件も審議され、記念大会の開催（平成二十二年四月予定）を始め記念事業等の立案検討を、進めて行くことも承認され閉会した。

総会終了後には恒例となつた総会講演会が行われ、今回は本年四月の神道青年全国協議会定例総会を以つて任期を終えられる永井承邦神青協会長により『神青協活動に邁進されたこの十年間を振り返ら

れ御講演を戴いた。

平成九年に事業委員として出向された事に始まり、教化委員長に就任された時に迎えた日韓共催サッカーワールドカップにおける

国旗啓発推進運動でのお話をや、会長に就任されてからも神社本庁や全国の単位会との調整役として奔走、御苦労されたお話を述べられた。御講演の終わりに本年三月の神青協中央研修会でも演題に挙

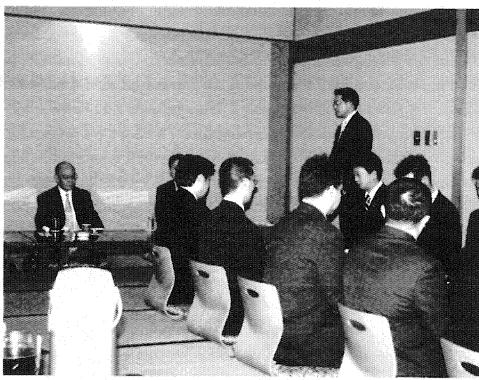
平成十九年度道神青協定例総会



定例総会にて挨拶をする大野新会長

げられた栗林中将の「邦家ノ将来ハ果シテ誰ノ雙肩ニカカル」の言葉を挙げられ、まさに私達の雙肩に掛かっているのだと一人一人が心がけ、僅かの期間である青年会での活動を積極的に行つていって欲しいと述べられ、大変意義深い講演となつた。

北海道神道青年協議会 理事
雄武神社 櫛宜 中島大輔



永井神青協会会長



北方OB会長

この慰労会には、定例総会にも御臨席を戴いた中村北海道神社副庭長様、北方道神青協OB会長様、また亀田八幡宮藤山宮司様をはじめ多数のOBの方々にも御出席を賜り、多くの会員の出席のもと開催された。

前述の定例総会、総会講演会に引き続いて、場所をすすきの『夢蘭』に移し、此の度の総会懇親会は永井神青協会長の慰労会として行われた。

この慰労会には、定例総会にも先輩方はもとより、これまでの神青協活動に寛大なる理解とその実践を奨励された御父様、御兄様の存在があつたからこそこの活動をすることが出来たと述べられ、その事を思い出されて感極まられ涙を流される場面もあつた。

先ず大野道神青協会長の挨拶があり、続いて北方OB会長様より御挨拶を戴き、その後永井神青協会長が謝意を述べられた。永井神青協会長は御講演戴いた中でも、

その後、中村副庭長様より乾杯の御発声を戴き、宴席は進められた。また今回は多くの先輩方が出席されていたこともあり、途中、総会で承認を受けた新役員の紹介も行われた。宴席は終始和やかな内に進み、池田清美道神社副庭長様の締めの乾杯の御発声を以つて閉会した。

永井神青協会長には、御健勝にて今後益々の御活躍を御期待申し上げますと共に、今後も御指導を賜りたく存じます。

私達も道神青協を、又、神青協をより一層発展させるべく積極的に会務に努めて行こうと改めて感じたこの慰労会となりました。

北海道神道青年協議会 理事
雄武神社 櫛宜 中島大輔



中村副庭長

平成十九年度 一般会計歳入歳出予算書

【収入の部】				
科 目	予算額	前年予算額	増 減	備 考
1. 会 費	800,000	815,000	-15000	5千× 160名
2. 協 賛 金	1,250,000	1,250,000	0	本年度協賛金
3. 助 成 金	230,000	230,000	0	神社庁20万・神青協3万
4. 雑 収 入	58,448	13,689	44759	利息・祝儀他
5. 総 越 金	511,552	556,311	-44759	前年度より
合 計	2,850,000	2,865,000	-15000	

【支出の部】				
科 目	予算額	前年予算額	増 減	備 考
1. 神 事 費	30,000	30,000	0	主事料(道神宮・道護園・縣前山)
2. 負 担 金	312,500	327,500	-15000	会員費24,400円(15%×180名)・地租町会費3万円・会員登録料3万円・日本全国神道連合会会員登録料3万円
3. 事 務 通 信 費	300,000	300,000	0	事務郵便料・事務所費
4. 会 議 費	250,000	200,000	50000	
①会議諸費	150,000	150,000	0	
②役員旅費	100,000	50,000	50000	役員交通費補助、打切支出
5. 活 動 費	1,550,000	1,800,000	-250000	
①事務費	700,000	700,000	0	団体登記料・オーネック会員登録料・会員登録料・会員登録料
②広報費	300,000	300,000	0	通信作成費・道打送付・ホームページ維持費
③神青協関係費	550,000	800,000	-250000	神青協会員登録料50万・中央研修会会員登録料5万・会員登録料
6. 豊 弟 費	50,000	50,000	0	祝儀・弔電・算儀玉串料
7. 会長交際費	70,000	70,000	0	会長交際費補助、打切支出
8. 雜 費	27,000	27,000	0	
9. 積 立 金	200,000	0	200000	本年度積立金
10. 予 備 費	60,500	60,500	0	
合 計	2,850,000	2,865,000	-15000	

平成十八年度 一般会計歳入歳出決算書

1. 勘定金額 3,193,501 円也
2. 勘定金額 2,681,949 円也
3. 差異残額 511,552 円也

自 平成18年4月 1日
至 平成19年3月 31日

【収入の部】				
科 目	決算額	予算額	増 減	備 考
1. 会 費	800,000	815,000	-15000	5千× 160名
2. 協 賛 金	1,212,000	1,250,000	-38000	本年度協賛金
3. 助 成 金	230,000	230,000	0	神社庁20万・神青協3万
4. 雑 収 入	395,190	13,689	381,501	利息・祝儀他
5. 総 越 金	556,311	556,311	0	前年度より
合 計	3,193,501	2,865,000	328,501	

【支出の部】				
科 目	決算額	予算額	増 減	備 考
1. 神 事 費	30,000	30,000	0	主事料(道神宮・道護園・縣前山)
2. 負 担 金	323,000	327,500	-4500	会員費24,400円(15%×180名)・地租町会費3万円・会員登録料3万円・日本全国神道連合会会員登録料3万円
3. 事 務 通 信 費	291,156	300,000	-8844	事務郵便料・事務所費
4. 会 議 費	194,088	200,000	-5912	
①会議諸費	144,088	150,000	-5912	
②役員旅費	50,000	50,000	0	役員交通費補助、打切支出
5. 活 動 費	1,731,905	1,800,000	-6895	
①事務費	700,000	700,000	0	団体登記料・オーネック会員登録料・会員登録料
②広報費	231,905	300,000	-6895	通信作成費・通信送料
③神青協関係費	800,000	800,000	0	神青協会員登録料50万・中央研修会会員登録料5万・会員登録料
6. 豊 弟 費	41,800	50,000	-8200	祝儀・弔電・算儀玉串料
7. 会長交際費	70,000	70,000	0	会長交際費補助、打切支出
8. 雜 費	0	27,000	-27000	
9. 積 立 金	0	0	0	本年度積立金
10. 予 備 費	0	60,500	-60500	
合 計	2,681,949	2,865,000	-183051	

①昭和四十五年八月三十一日
②後志青年神職会・会長
③豊足神社・惣宜
④小樽市錢函二丁目九一十
⑤仕事・早寝・早飯
⑥おもしろきことなき世をおもし
ろく(高杉晋作・辞世の句)



副会長
後藤 隆弘
ごとう たかひろ

①昭和四十七年二月二十七日
②十勝支部青年神職会・会長代行
③帶廣神社・宮司
④帶広市東三条南二十一
⑤美術鑑賞・庭いじり・たこ焼き作り
⑥勝つて兜の緒を締めよ



会長
大野 清徳
おおの きよのり

①昭和四十七年七月二十日
②札幌支部青年神職文月会・副会長
③星置神社・宮司
④札幌市手稲区星置南一丁目八一
⑤飲酒・アイスホッケー
⑥メリハリ



副会長
中村 文彦
なかむら ふみひこ

①昭和四十六年三月十八日
②札幌支部青年神職文月会・副会長
③星置神社・宮司
④札幌市手稲区星置南一丁目八一
⑤飲酒・アイスホッケー
⑥メリハリ



副会長
加藤 刚
かとう たけし

北海道神道青年協議会 役員紹介

(5) 趣味・特技	(4) 奉務神社・鎮座地	(3) 奉務神社・職名	(1) 生年月日	(2) 単位会・役職
-----------	--------------	-------------	----------	------------

①昭和四十五年四月十二日
②渡島神道青年会・会長
③三嶋神社・宮司
④龜田郡七飯町本町五七六



理事(渡島)
水嶋恵嗣

①昭和四十五年一月二十四日
②空知支部青年神職会
③由仁神社・宮司
④夕張郡由仁町本町三三〇
きを知る



理事(空知)
手塚裕建

①昭和五十年十二月二十六日
②宗谷青年神職会・会長
③厳島神社・宮司
④礼文郡礼文町香深村字トンナイ三五〇
⑤読書・釣り
⑥先神事



理事(宗谷)
坪山尚弘

①昭和四十五年十一月九日
②胆振青年神職会・会長
③室蘭八幡宮・権禰宜
④室蘭市海岸町二丁目九一三
⑤映画鑑賞



理事(胆振)
奈良泰房

①昭和四十四年三月六日
②札幌支部青年神職文月会・副会長
③新琴似神社・権禰宜
④札幌市北区新琴似八条三丁目一ー六
⑤庭造り・日曜大工



理事(札幌)
田湯雅之

①昭和四十八年一月十三日
②後志青年神職会・副会長
(对外交流部長)
③岩内神社・権禰宜
④岩内郡岩内町宮園四十一
⑤スポーツ観戦



理事(後志)
鎌田寛記

①昭和三十九年二月二十二日
②留萌青年神職会・会長
③留萌神社・宮司
④留萌市宮園町四丁目十六
⑤読書



理事(留萌)
白取敏昭

①昭和四十九年三月二十日
②紋別神道青年会
③雄武神社・権禰宜
④紋別郡雄武町字雄武一四八五
⑤音楽鑑賞・ドライブ・スポーツ観戦
スノーボード



理事(紋別)
中島大輔

①昭和四十九年六月十六日
②札幌支部青年神職文月会・副会長
③錦山天滿宮・権禰宜
④江別市野幌代々木町三十八ー一
⑤パソコン
⑥有言実行・風姿無銘・神明奉仕



事務局長
山口亨

①昭和五十一年十二月九日
②檜山神道青年会・会長
③八幡神社・権禰宜
④爾志郡乙部町元町二五四
⑤庭じり・日曜大工
⑥自分以外全員師匠・換骨奪胎



理事(檜山)
松崎胤彦

①昭和四十二年三月八日
②上川神道青年会
③北海道護国神社・権禰宜
④旭川市花咲町二丁目
⑤雅樂(龍笛)・車・手の第一関節だけ
曲げることができる
⑥舗装の道より砂の道



理事(上川)
宗片征義

①昭和四十七年六月二十六日
②網走神道青年会
③端野神社・権禰宜
④北見市端野町二区四七〇
⑤神輿・雅樂・火消
⑥一日一渡御・一吹・一消



理事(網走)
堀澤雅明

①昭和五十三年三月六日
②日高青年神職会・会長
③住吉神社・櫻宣
④幌泉郡えりも町字本町一三七
⑤読書・映画鑑賞
⑥世界の終わらが明日だとしても、ボクは種をまく……
⑦得意淡然・失意泰然
⑧日々是平穏



理事(剣路)
菅野 剛

①昭和四十三年六月二十一日
②十勝支部青年神職会・会長
③芽室神社・宮司
④河西郡芽室町本通八丁目一
⑤読書・野球・格闘技観戦・マラソン
⑥得意淡然・失意泰然
⑦世界の終わらが明日だとしても、ボクは種をまく……
⑧日々是平穏



理事(十勝)
赤澤 一



理事(日高)
手塚 裕警

①昭和四十二年二月十六日
②根室神道青年会・会長
③金刀比羅神社・櫻宣
④根室市琴平町一丁目四
⑤潜水・日本探検・読書
⑥一期一会・一日一アイス
⑦得意淡然・失意泰然
⑧日々是平穏



監事
會田 史男

①昭和四十四年四月二十三日
②網走神道青年会
③置戸神社・宮司
④常呂郡置戸町字置戸二八三
⑤昼夜
⑥言うは易く行うは難し
⑦得意淡然・失意泰然
⑧日々是平穏



監事
藤川伸生



理事(根室)
前田 穰

地区理事・代議員
指名理事
代議員
遷宮委員
事業委員
時局問題調査員

監事
田湯直宜
大野清徳
中村文彦
山口亨
三橋厚友
後藤隆弘
加藤剛
後藤隆弘
会長 前田穰
会員数 二名

①昭和四十四年十一月二十一日
②剣路管内神社青年会・会長
③鳥取神社・櫻宣
④剣路市鳥取大通四一二一十八
⑤和太鼓・パソコンいじり
⑥日々是平穏

神道青年全国協議会出向役員

①昭和五十二年二月二十八日
②札幌支部青年神職文月会・事務局長
③厚別神社・櫻宣
④札幌市清田区平岡二条一丁目三一一
⑤スノーボード・ジョギング
⑥ノーリスクハイリターン



理事待遇
三橋厚友



参与
田湯直宜

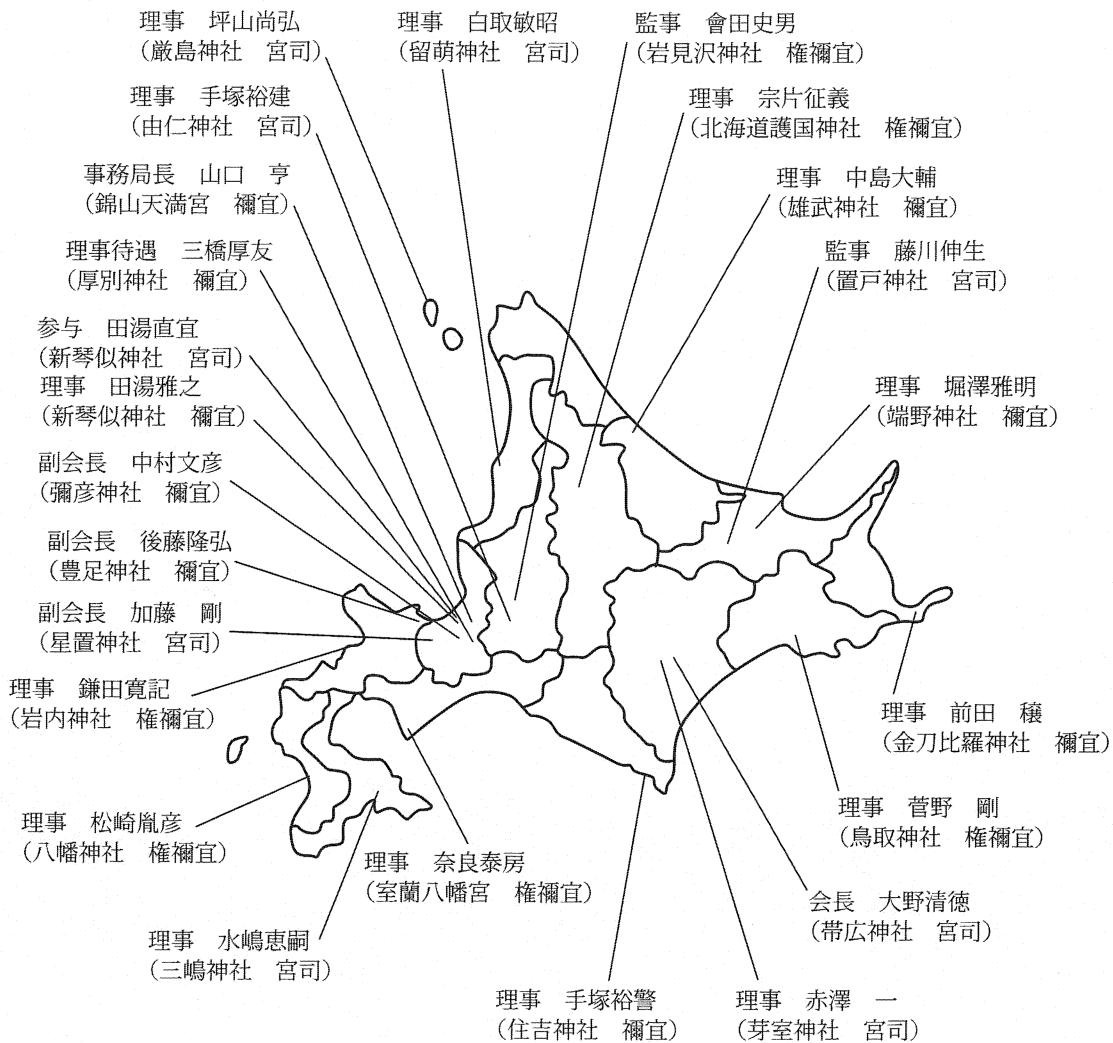
会長 奈良泰房
会員数 十三名
胆振青年神職会
会長 照井幸央
会員数 三名
紋別神道青年会
会長 中島淨晴
会員数 十名
宗谷青年神職会
会長 坪山尚弘
会員数 五名
網走神道青年会
会長 白取敏昭
会員数 三名
留萌青年神職会
会長 丸井直人
会員数 十九名
上川神道青年会
会長 井上篤志
会員数 十二名
空知支部青年神職会
会長 後藤隆弘
会員数 十名
渡島神道青年会
会長 松崎胤彦
会員数 二名
檜山神道青年会
会長 水嶋恵嗣
会員数 十九名
後志青年神職会
会長 後藤隆弘
会員数 十名
樽山神道青年会
会長 松崎胤彦
会員数 二名
北海道内各単位会紹介

札幌支部青年神職文月会
会長 中村文彦 会員数 三十九名
渡島神道青年会
会長 水嶋恵嗣 会員数 十九名
檜山神道青年会
会長 松崎胤彦 会員数 二名
後志青年神職会
会長 後藤隆弘 会員数 十名
空知支部青年神職会
会長 井上篤志 会員数 十二名
上川神道青年会
会長 丸井直人 会員数 十九名
留萌青年神職会
会長 井上篤志 会員数 三名
宗谷青年神職会
会長 坪山尚弘 会員数 五名
網走神道青年会
会長 白取敏昭 会員数 三名
留萌青年神職会
会長 丸井直人 会員数 三名
上川神道青年会
会長 井上篤志 会員数 三名
空知支部青年神職会
会長 後藤隆弘 会員数 三名
樽山神道青年会
会長 松崎胤彦 会員数 二名
北海道内各単位会紹介

会長 奈良泰房
会員数 十三名
胆振青年神職会
会長 照井幸央
会員数 三名
紋別神道青年会
会長 中島淨晴
会員数 十名
宗谷青年神職会
会長 坪山尚弘
会員数 五名
網走神道青年会
会長 白取敏昭
会員数 三名
留萌青年神職会
会長 丸井直人
会員数 三名
上川神道青年会
会長 井上篤志
会員数 三名
空知支部青年神職会
会長 後藤隆弘
会員数 三名
樽山神道青年会
会長 松崎胤彦
会員数 二名
北海道内各単位会紹介

会長 奈良泰房
会員数 十三名
胆振青年神職会
会長 照井幸央
会員数 三名
紋別神道青年会
会長 中島淨晴
会員数 十名
宗谷青年神職会
会長 坪山尚弘
会員数 五名
網走神道青年会
会長 白取敏昭
会員数 三名
留萌青年神職会
会長 丸井直人
会員数 三名
上川神道青年会
会長 井上篤志
会員数 三名
空知支部青年神職会
会長 後藤隆弘
会員数 三名
樽山神道青年会
会長 松崎胤彦
会員数 二名
北海道内各単位会紹介

地図で見る道神青協役員奉仕神社鎮座地



国民の総意でもどそう北方領土!!



日露通好条約(1855年)により、日本とロシアの国境と決められました。ここから以南は北海道本島と同じ気候区分に属していて、生物・地理学上の境界線ともなっています。

千島・樺太交換条約(1875年)により、日本領土となりました。
サンフランシスコ平和条約(1951年)で、南樺太と共に放棄しましたが、
その帰属は未定です。

神青協第五十九回定例総会・総会講演会

去る四月二十四日、神道青年全国協議会第五十九回定例総会が、神社本庁二階大講堂にて開催された。道神青協からは、大野会長を始め、加藤副会長、山口事務局長が代議員として出席し、傍聴席から手塚裕警理事と私三橋が出席した。

午前十時半より開会式が行われ、永井神青協会長が挨拶を申し述べ、引き続き定例表彰式が執り行われた。十一時より、議事に入

り、平成十八年度の執行部より神宮式年遷宮啓発活動頒布品特別会計・創立六十周年記念事業準備委員会設置・会務報告・一般会計歳入歳出決算書・事業会計收支計算書などの上程があり、異議なく原案の通り承認された。この瞬間、永井会長は二年間の任期を全うされ、その任が解かれた。

一時休憩の後、平成十九年度の新執行部選出の為、先の臨時総会にて選任された久富新会長と道神青協田湯参与を含めた三名の監事が登壇し、久富会長より副会長、理事の指名が行われ、道神青協からは大野会長が地区理事として、



定例総会にて挨拶をする永井会長

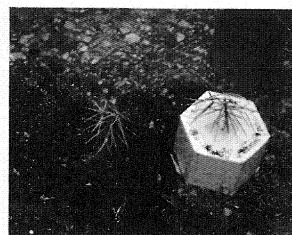
北海道神道青年協議会 理事待遇
厚別神社 横宜 三橋厚友

午後三時半からは、定例総会講演会が開かれ、演題「領土問題について」、講師に参議院議員有村治子先生をお招きして御講演戴いた。

午後三時半からは、定例総会講演会が開かれ、演題「領土問題について」、講師に参議院議員有村治子先生をお招きして御講演戴いた。

此の度、その苗木を北海道神道青年協議会役員が、北海道神宮境内に植樹致しました。

悠仁親王殿下御誕生を祝して、神道青年全国協議会より全国青年会へ悠仁親王殿下のお印である『高野楨』の苗木二株を頂戴致しました。



植樹をした高野楨

高野楨植樹



北海道神道青年協議会 新入会員紹介

① 生年月日	② 単位会・役職	③ 奉務神社・職名	④ 奉務神社鎮座地
⑤ 趣味・特技	⑥ 座右の銘	⑦ 抱負	

①昭和五十九年十一月十九日 ②札幌支部青年神職文月会
③札幌諏訪神社・権禪宣 ④札幌市東区北十二条東一丁目一一十
⑤雅楽鑑賞・サッカー・観戦 ⑥先輩の皆様の御指導を戴きながら、
神職としての勉強をして参りたいと
存じます。
どうぞ宜しくお願い申し上げます



北 方 宏 和

さきたかたひろかず
①昭和五十九年十一月十九日
②札幌支部青年神職文月会
③札幌諏訪神社・権禪宣
④札幌市東区北十二条東一丁目一一十
⑤雅楽鑑賞・サッカー・観戦
⑥先輩の皆様の御指導を戴きながら、
神職としての勉強をして参りたいと
存じます。
どうぞ宜しくお願い申し上げます

石川智仁
いしかわともひと

- ①昭和六十二年三月二十六日
 ②渡島神道青年会
 ③龜田八幡宮・出仕
 ④函館市手稲区手稲本町二条三丁目四一三十五
 ⑤旅行・テニス
 ⑥言行一致
 ⑦まだまだ経験も少なく、先輩方には色々と御迷惑をお掛けするかと思いますが、座右の銘である言行一致の通り、言葉と行動を同じくし信頼を得られるような神職になりたいと思います。

五十嵐讓
いがらしゆずる

- ①昭和五十九年五月十九日
 ②渡島神道青年会
 ③落部八幡宮・櫛宣
 ④函館市八幡町三一
 ⑤野球
 ⑥一球入魂
 ⑦野球頑張ります！
- ①昭和五十九年十月三十一日
 ②渡島神道青年会
 ③厳島神社・櫛宣
 ④函館市弁天町九一九
 ⑤お酒
 ⑥酒は飲んでも飲まれるな！

常磐井武純
ときわいたけすみ

- ①昭和五十八年六月七日
 ②宗谷青年神職会
 ③利尻山神社・櫛宣
 ④利尻郡利尻富士町鶴泊字本町
 ⑤スポーツ
 ⑥読書
 ⑦松前神楽も含め、神明奉仕に励み頑張りました。誠心誠意尽くす所存でございます。何卒今後共、御指導・御鞭撻の程、宜しくお願い致します。

森田崇裕
もりたかひろ

- ①昭和五十七年七月十八日
 ②胆振青年神職会
 ③中嶋神社・櫛宣
 ④室蘭市宮の森町一ー一六十四
 ⑤剣道（二段）・音楽鑑賞
 ⑥温故知新
 ⑦素より、浅学非才の身ではございますが、誠心誠意尽くす所存でございます。道神青の員として頑張ります。

横井康大
よこいこうだい関根賢司
せきねけんじ山根大司
やまねだいじ瀧川寛毅
たきかわひろき

- ①昭和五十九年一月十八日
 ②札幌支部青年神職文月会
 ③手稲神社・出仕
 ④札幌市手稲区手稲本町二条三丁目四一三十五
 ⑤旅行・テニス
 ⑥時は金なり
 ⑦これから神社界でがんばっていきます。
 神社界がより発展する為に、努力して行きたいと思います。宜しくお願ひ致します。

- ①昭和五十九年十月三十一日
 ②空知支部青年神職会
 ③滝川神社・櫛宣
 ④滝川市一の坂町東一一一十二
 ⑤お酒
 ⑥酒は飲んでも飲まれるな！

- ①昭和六十一年五月二十六日
 ②網走神道青年会
 ③北見神社・出仕
 ④北見市北三条東六丁目十一
 ⑤旅行
 ⑥七詠び八起き
 ⑦これから更に勉強を続け、いろいろな事への理解を深め、神職としても社会人としても一人前になれる様日々努力を重ねていきたいと思っております。

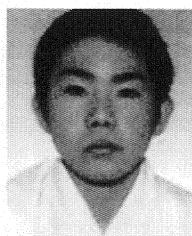
- ①昭和六十一年五月二十六日
 ②網走神道青年会
 ③北見神社・出仕
 ④北見市北三条東六丁目十一
 ⑤読書・音楽鑑賞・キャッチボール
 ⑥七詠び八起き
 ⑦これから更に勉強を続け、いろいろな事への理解を深め、神職としても社会人としても一人前になれる様日々努力を重ねていきたいと思っております。



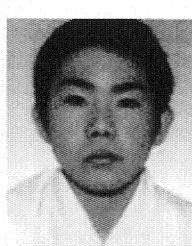
あかざわ りょういち
赤澤 良一



さかい しゅん
酒井 俊



ちば こうじ
千葉晃司



なかにし としゆき
中西 利行

- ①昭和六十年一月九日
- ②十勝支部青年神職会
- ③茂岩神社・櫛宣
- ④中川郡豊頃町茂岩新和町一三六
- ⑤バスケットボール・スキー
- ⑥初志貫徹
- ⑦地域の方々と密着した活動を行つて行きました。
いと思想します。

神青協『北方領土の碑』現状視察

北方領土早期復帰祈願祭

去る六月二十五、二十六日、根室市に於いて、神青協第三回役員会並びに北方領土早期復帰祈願祭が執り行されました。二十五日、神青協渉外委員会を中心とした先発隊が納沙布岬に向かい『北方領土の碑』の清掃が行われ夕刻より市内イーストハイバーホテルにて

神青協会長 久富真人新体制の第三回役員会が開催されました。役員会終了後、金刀比羅神社宮司前

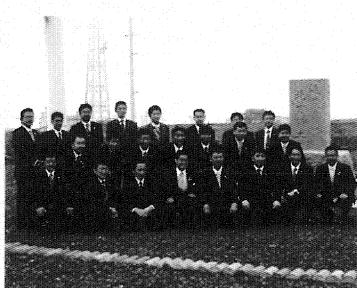
- ①昭和五十四年六月二十五日
- ②日高青年神職会・副会長
- ③大神宮社・櫛宣
- ④沙流郡日高町富川東二丁目六一十一
- ⑤ゴルフ・スキー
- ⑥大きな変化は小さな変化から
- ⑦人生経験並びに、神職としての経験も浅い私ですが、一生懸命御奉仕させて頂きますので、どうぞお願い致します。

- ①昭和六十三年一月二十一日
- ②根室神道青年会
- ③金刀比羅神社・権櫛宣
- ④根室市琴平町一丁目四
- ⑤弓道
- ⑥人生経験並びに、神職としての経験も浅い私ですが、一生懸命御奉仕させて頂きますので、どうぞお願い致します。

田康様より歓迎の御挨拶を戴き懇親会となり道神青理事三名も合流し根室の美味しい海産物を頂きながら懇親を深めました。
二十六日、早朝より納沙布岬に出発し最東端に鎮座する納沙布金刀比羅神社を参拝し『北方領土の碑』を通し北方領土に鎮座する神社を遙拝致しました。前日の清掃時には歯舞諸島の水晶島、貝殻島がはつきりと見え、国後島のチャチャ岳（らしき山）も薄つすらと見ることが出来ましたが、残念ながら早朝は霧が濃く目と鼻の先の北方領土を目にすることが出来ませんでした。その後、北方領土から奉遷した十社の御神体を合祀している金刀比羅神社に移動し北方領土早期復帰祈願祭が斎主 前田穰櫛宣、祭員 千葉晃司権櫛宣の奉仕により神青協役員二十五名、道神青理事四名参列し厳粛に斎行されました。神青協会長が祭文を奏上し、元島民の苦難、ロシアの強硬姿勢、遅々として問題解決の端緒が見出されない現状、全国神道青年が三十八年間に亘り活動を展開し風化させることなく全国津々浦々にて国民意識の啓発に努める活動を推進してきた事等を申し上げ、会員一同決意を新たにし、



金刀比羅神社にて



北方領土の碑にて

北海道神道青年協議会 理事
端野神社 権櫛宣 堀澤雅明

一日も早い国土復帰に向け活動を展開し続ける事を誓い申し上げました。その後、中標津空港より新千歳空港、札幌市内に移動し神青協役員、道神青役員、文月会合同懇親会が開催され全日程を終了致しました。

北海道神道青年協議会

『敬神手帳』の御案内

◆道神青協
ホームページ

創立五十五周年事業の一環として事業品『敬神手帳』を頒布致しましたが、本年も継続事業品として頒布する運びとなりました。

この敬神手帳は、神社に関わりの深い役員・総代を始め氏子崇敬者に至るまで、神社神道の教化など知識の高揚が図れるよう編集致しました。是非各社に於かれましては、今般発行の『平成二十年敬神手帳』を御購入の上、より神道教化に活用下さいますよう謹んで御案内申し上げます。

『平成二十年 敬神手帳』

- 体裁 尺法 一七〇mm×九〇mm
- 頁数 約七〇ページ

■ 頒布価格

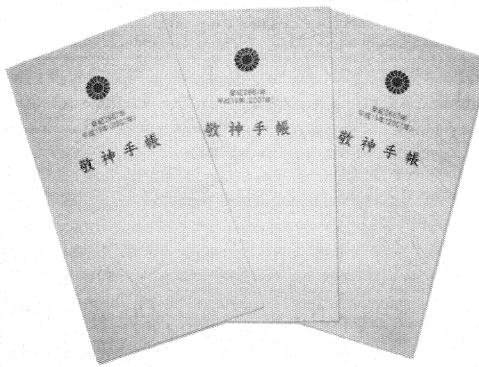
一冊 一〇〇円

(一〇部単位でお申し込み下さい)

※送料実費負担

■ 申し込み

平成十九年八月十五日までに道神青協事務局にお申し込み下さい。
発送は九月上旬を予定しております。



道神青協では、昨年度より公式ホームページを立ち上げ、広く青年会の活動を広報し、また、一般の閲覧者の方にも役立つ情報を掲載するなどして、インターネットを通した教化活動を行っております。

現在は掲載内容に一部編集中の箇所がございますが、これから徐々にコンテンツを増やして、多くの皆様に御閲覧戴き、また有効に御活用戴けるホームページ運営を目指す所存でござります。

題字『道神青』について
本通信は、平成四年一月一日創刊にあたり、当時の中野尹亮北海道神社庁長に御揮毫戴いたものです。

如何でしょか? 内容に不安を感じますか? 御覧下さい。

(加藤)

◆編集後記◆

先ずは、通信第三十九号発行にあたり、社務御多忙の中御寄稿戴きました皆様に、厚くお礼申し上げます。

いよいよ大野新執行部(大野丸)が出席致しました。大野丸にて此のこととなりました。(お断りをすればいいものを、ついつい調子に乗つてお受けしてしまいました)しかし

ながら、この重責を受けしたからには“かとちゃんらしさ”を前面に出して行きたいと思います。

- 北海道神道青年協議会 公式ホームページ <http://www.doshinsei.jp/>